



2023年1月期 第2四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証プライム(証券コード:1433)

決算のポイント

売上高

2,533百万円

- ・売上高は対前年197百万円(8.5%)増
- ・大型の進行基準工事の進捗により、増収

営業利益

75百万円

- ・継続的な人材採用・研究開発・広告宣伝等の投資により販管費が増加し、営業利益は対前年86百万円(53.4%)減

受注残高

1,862百万円

- ・受注残高は、ストック型工事の増加、および大型工事の受注に支えられ、堅調に推移
- ・受注見込案件の引き合いは良好

業績予想

- ・2023年1月期の業績予想は、売上高6,700百万円、営業利益620百万円を見込む
- ・配当は20円(前年比+4円)増配の予想

トピックス

- ・株式会社日立パワーソリューションズとの契約締結
- ・株式会社クラッソーネとの資本業務提携
- ・新株予約権による資金調達を活用した成長投資
- ・株主優待制度の変更(拡充)

トピックス① (株)日立パワーソリューションズとの風車解体に関する契約締結

国内陸上風力発電設備の解体工事において、当社が保有する特許技術「解体工法」の実施許諾契約を(株)日立パワーソリューションズと締結しました。両社の技術を組み合わせ、風力発電設備解体市場の取り込みを強化してまいります。

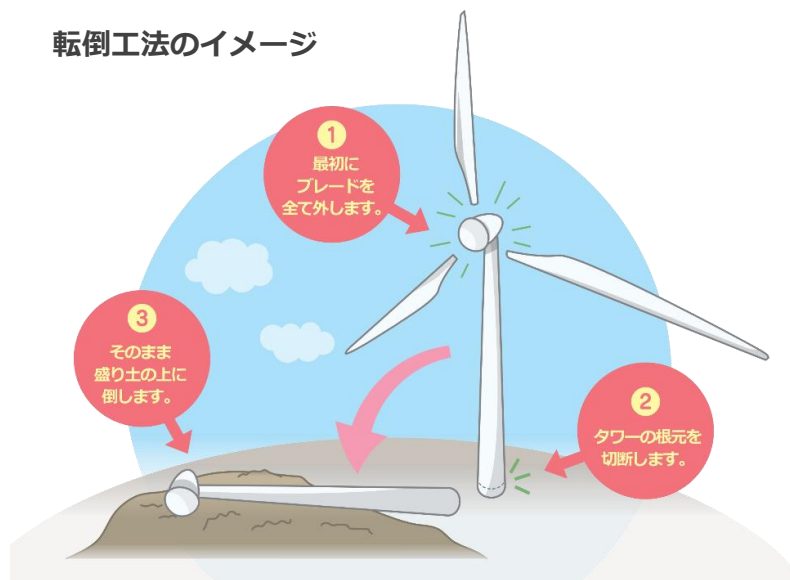
◎ 株式会社 日立パワーソリューションズ

- ・日立グループとしての実績
- ・風力発電設備に関する豊富な技術
- ・発電プラント設計・保守の高度な技術



- ・独自の解体工法、ノウハウ
- ・プラント解体の豊富な施工実績
- ・環境関連工事の豊富な実績

転倒工法のイメージ



※図は(株)日立パワーソリューションズ提供

優位性の確立

- ① 工期短縮
- ② CO2排出量削減
- ③ 安全性

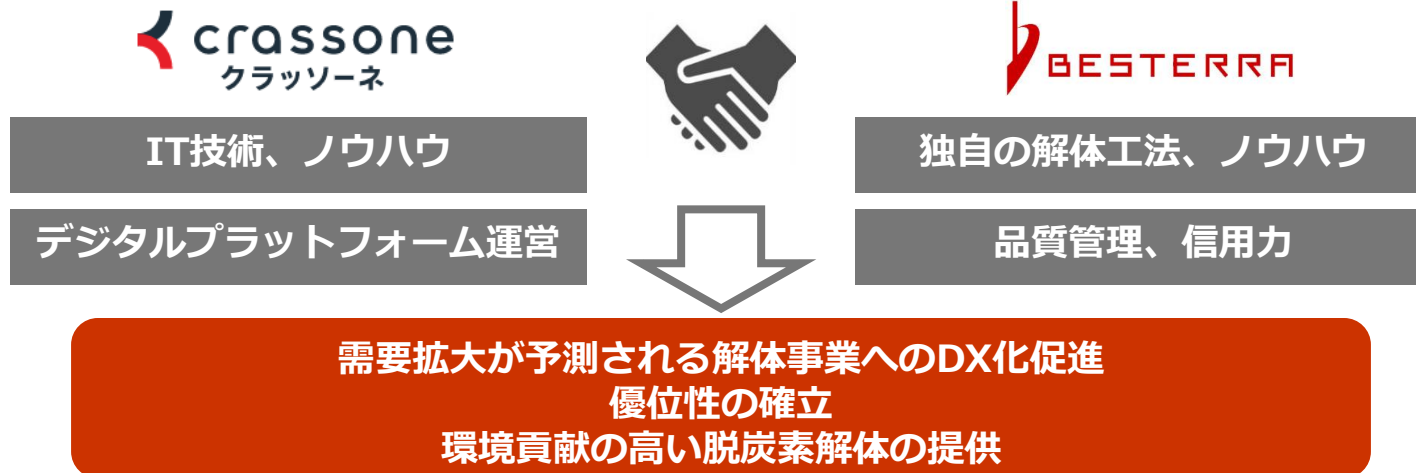
脱炭素解体の実現

風力発電設備解体市場の取り込み



トピックス② (株)クラッソーネとの資本業務提携

解体工事のプラットフォームを運営する株式会社クラッソーネと、解体DX技術に関する資本業務提携契約を締結しました。互いのノウハウを組み合わせることで、今後増加が予測される解体ビジネスにDX化をもたらし、両社の事業拡大を目指します。

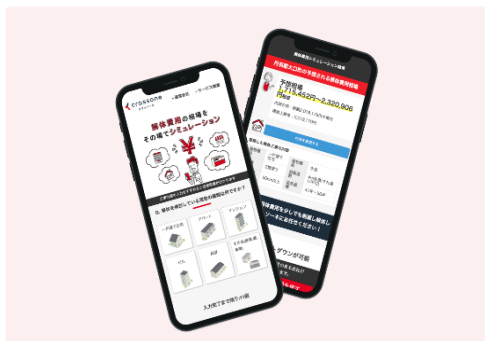


商号	株式会社クラッソーネ
事業内容	解体工事のプラットフォーム運営
所在地	愛知県名古屋市中村区名駅五丁目7番30号
資本金	100,000,000円
代表取締役	川口 哲平
設立年月日	2011年4月1日

- 第三者割当増資について
- 本業務提携に伴い、クラッソーネ社のC種優先株式666,666株を取得
- (・ 発行済株式総数に対する所有割合12.50%)
- (・ 取得価額499,999,500円)

参考資料：地方自治体との取り組み事例

(株)クラッソーネは「街の循環再生文化を育む」をビジョンに掲げ、「住宅解体市場のDX化による情報の非対称性解消」や「デジタル化が進んでいない建設業界特有の課題解消」のためのデジタルプラットフォーム運営事業を展開しております。



解体工事費用のシミュレーターや見積もりサービス

スマホやPCでおおよそ10個の質問に答えるだけ(所有時間約2分)で遠隔地からでも解体費用の把握が可能です。

空き家処分の進め方などの解体に関する情報提供

自治体に対してサービスを無料で提供

空き家所有者

概算把握が簡単で早い!



親族と検討しやすい!

空き家対策の行動迅速化!

広報協力

(HP, 公式SNS, 窓口配布, 自治会回覧板, 広報誌)

地方自治体

生活者に対する啓発活動

セミナー

納税通知書

管理指導通知

+

手軽に費用がわかるきっかけづくり

自治体向け解体費用シミュレーター

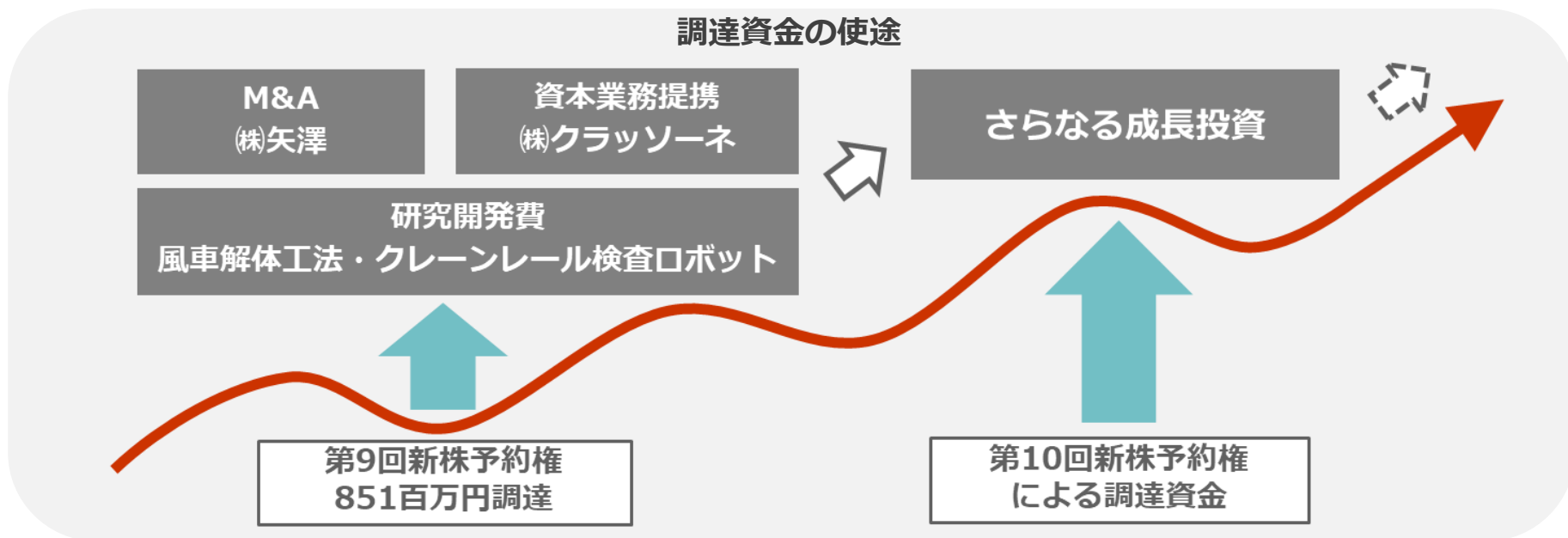
空き家の増加抑制!

全国34自治体と
空き家除去促進の
連携協定
(2022年9月9日現在)

複数の解体工事会社による見積もり予想金額の算出をAIによって自動化した国内初のサービス

トピックス③ 調達資金を活用した成長投資

第9回新株予約権は、8月5日をもって行使期間が満了いたしました。調達した資金は(株)矢澤の株式取得や風力発電設備解体工法の研究開発費等に使用しました。中期経営計画の達成に向けて、成長資金の確保と財務基盤の強化を推進してまいります。



	新株予約権個数	行使期間	資金調達額	権利行使の見通し
第 9 回	6,346個 (行使済)	2021年2月8日 ～2022年8月5日	851百万円	行使期間満了
第 10 回	5,100個	2021年2月8日 ～2026年2月6日	1,012百万円 (予想)	・当初行使価額：1,985円 ・2025年2月7日終値に基づき行使価額の修正

※株価が1,985円になるまでは、希薄化について一定の歯止めがかかる仕組みとなっております。

トピックス④ 株主優待制度の変更について

2023年1月期より株主優待内容を変更(拡充)し、「ベステラ・プレミアム優待倶楽部」を新設しました。また、配当は20円(前年比+4円)増配となっております。

配当(増配)

1株当たり20円(中間配当10円+期末配当10円)

株主優待

■内容
「ベステラ・プレミアム優待倶楽部」サイトにおいて、食品、銘酒、電化製品、雑貨など約5,000種類の優待商品からお好きな商品や、他のプレミアム優待倶楽部導入企業の優待ポイントと合算が可能な共通株主優待コインと交換可能

■対象となる株主様
毎年1月31日現在の株主名簿に記載された5单元(500株)以上をご所有の株主様

保有株式数	株主優待内容
500株～	3,000ポイント
600株～	5,000ポイント
800株～	10,000ポイント
900株～	15,000ポイント
1,000株～※	30,000ポイント
5,000株～	40,000ポイント

優待商品の例



※写真はイメージです。また、優待商品は変更になる場合がございます。

※優待の総合利回りのピークポイントが1,000株になるように設計しております。

損益計算書: 第2四半期(2023年1月期)

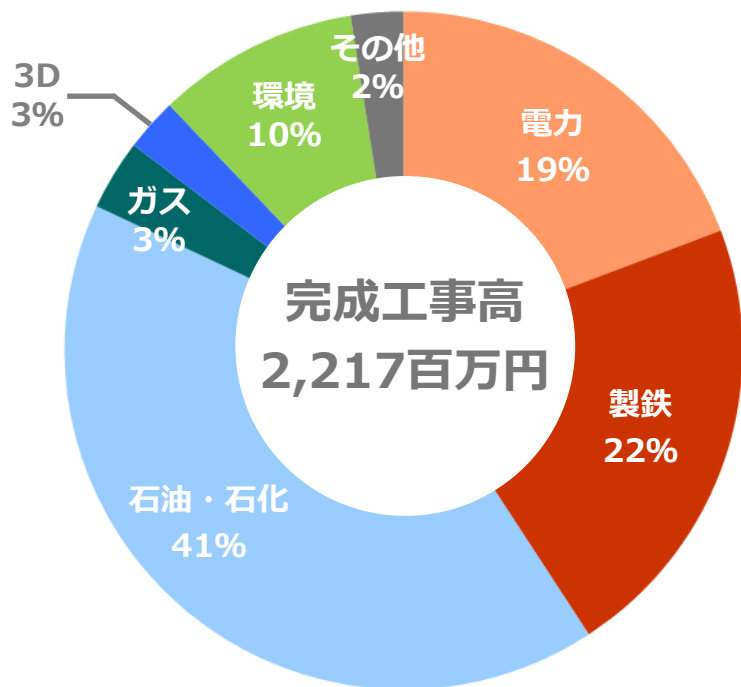
売上高は、工事が順調に進んだため、前年同期比8.5%の増収となりました。
営業利益は、人材採用、研究開発、広告宣伝費等の投資に伴う販管費の増加により、前年同期比53.4%の減益となりました。

単位: 百万円

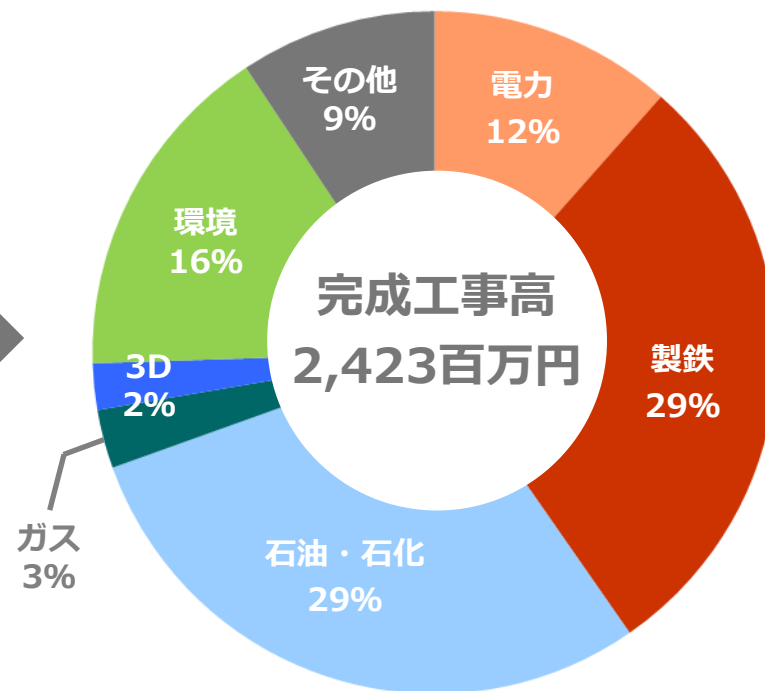
	2023年1月期 第2四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	2,533	—	2,335	197	8.5%
売上総利益	512	20.2%	505	6	1.4%
販売費及び 一般管理費	437	17.3%	344	93	27.0%
営業利益	75	3.0%	161	▲86	▲53.4%
経常利益	144	5.7%	273	▲128	▲47.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	67	2.7%	220	▲152	▲69.3%

業界別 完成工事高構成比率

2023年1月期第2四半期は、アスベスト除去等の環境対策工事の需要拡大、(株)矢澤のグループ化により、環境カテゴリの完成工事高に占める比率が増加しております。



2022年1月期（第2四半期）

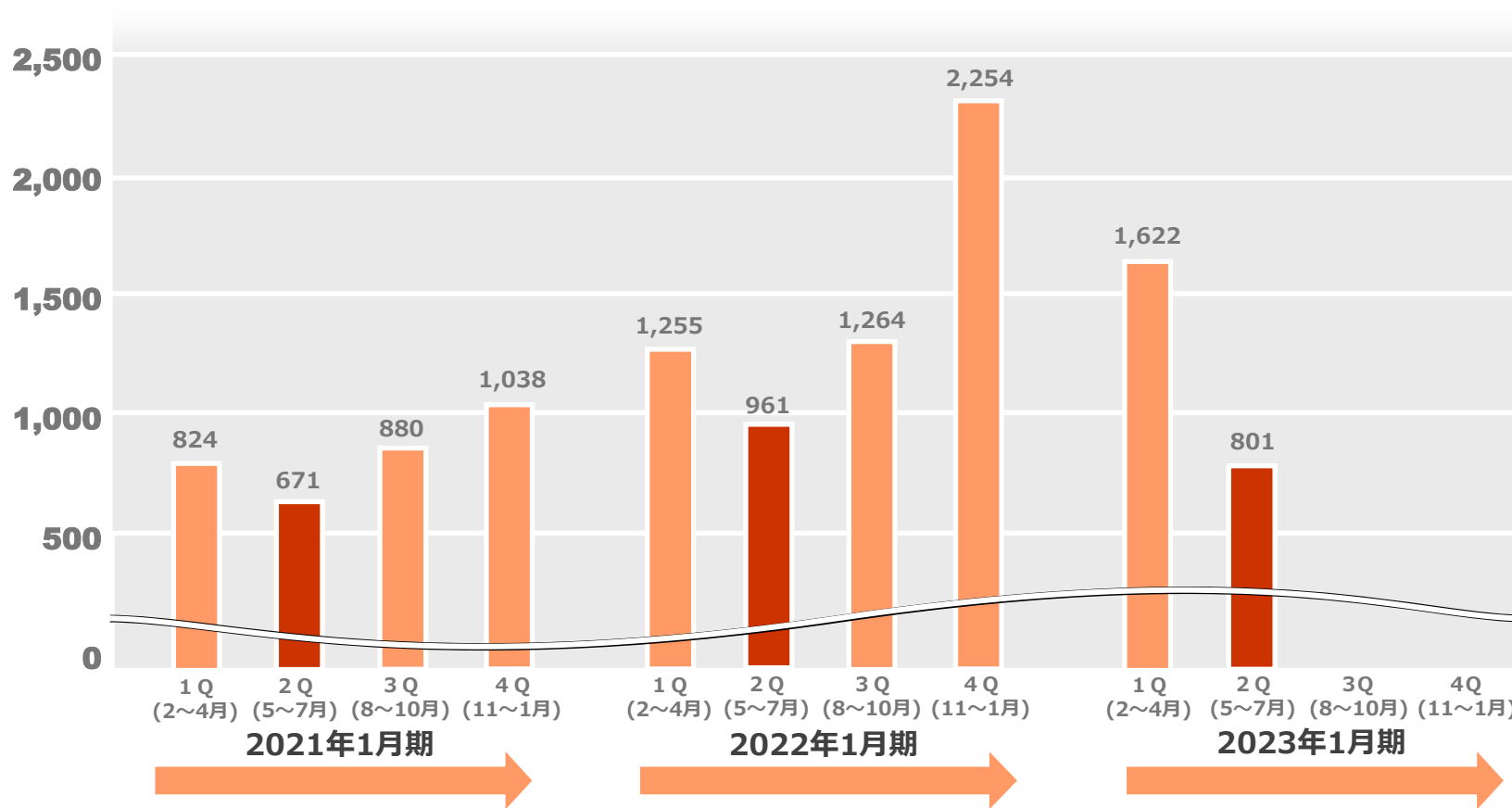


2023年1月期（第2四半期）

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客（施主）の設備投資計画に応じた季節性があります。今期も例年通り、下期に完成工事高の増加を予定しております。

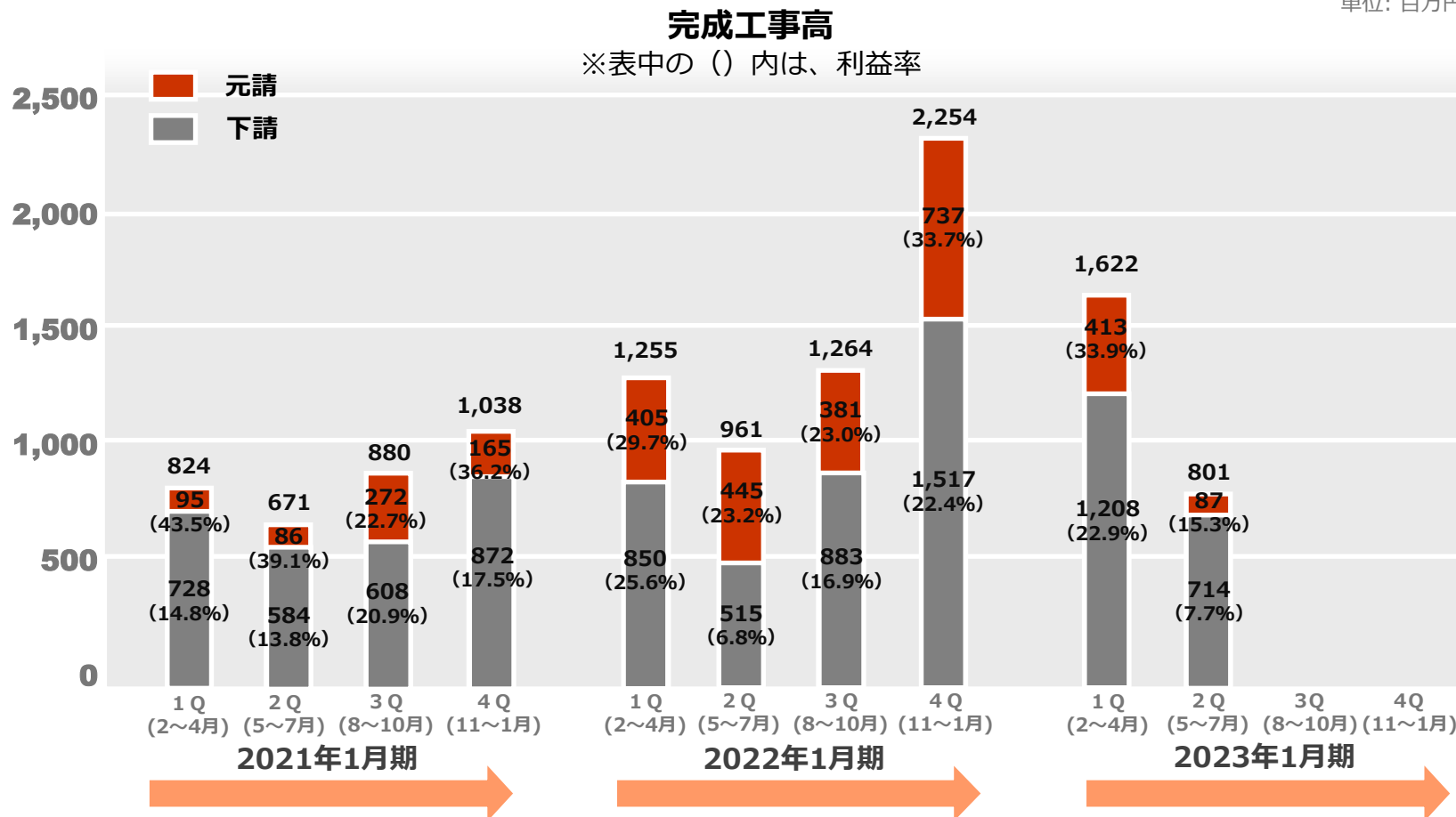
単位: 百万円



完成工事高に占める元請案件の推移

営業戦略によりストック型工事の受注(安定的かつ継続的な工事受注)が増えているため、利益率が低くなる傾向にあります。第2四半期会計期間において、売上には未計上であるものの、元請案件の受注状況は良好であります。

単位: 百万円



販売費及び一般管理費：第2四半期（2023年1月期）

販管費は、中期経営計画に基づき、元請獲得のための広告宣伝費用を積極的に使用したほか、クレーンレール検査ロボット開発等の投資を進めております。

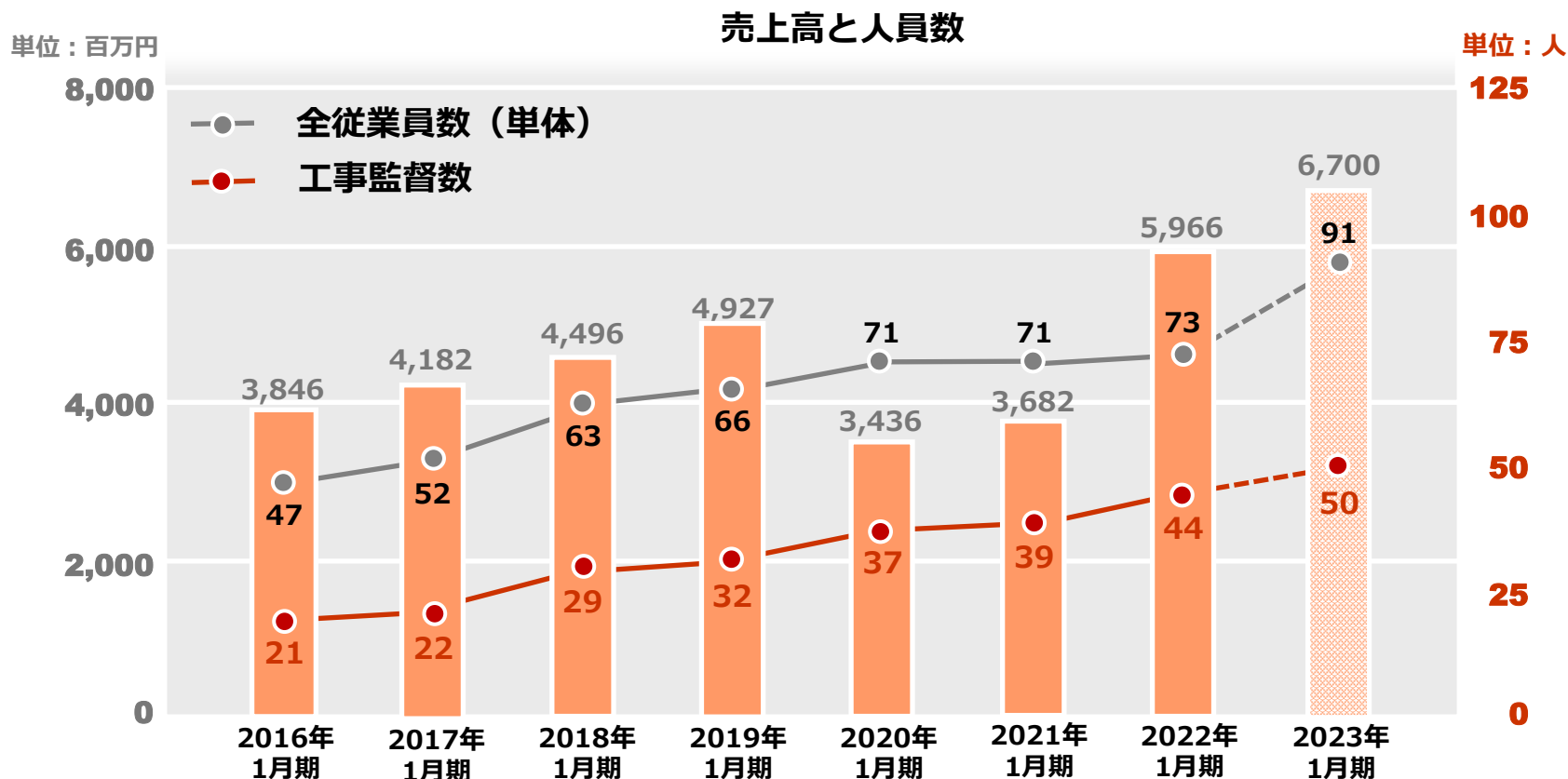
単位：百万円

	2023年1月期 第2四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	235	215	19	9.1%	人員増
研究開発費	9	8	1	12.3%	ロボット開発費用
支払手数料 支払報酬	38	29	8	30.0%	営業協力費用、システム改良等
採用費	9	8	0	4.1%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	17	1	16	1151.3%	ブランディング費用、展示会出展
その他	126	79	46	58.4%	
合計	437	344	93	27.0%	

人員計画の進捗

中期経営計画に基づき下記の人員増を予定しております。

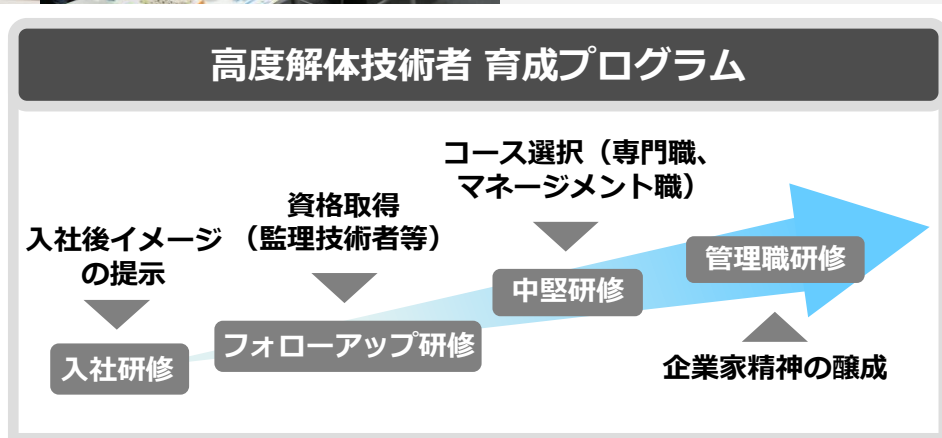
第2四半期末現在、**工事監督数**は、**期首から4名増の48名**となっております。



人材育成プログラムの実施状況

当社は解体工事の施工管理に特化しており、工事監督者の育成が不可欠となっております。当社の成長の根幹となる人員数の増加および早期戦力化を図るため、人材育成システムの構築を推進してまいります。

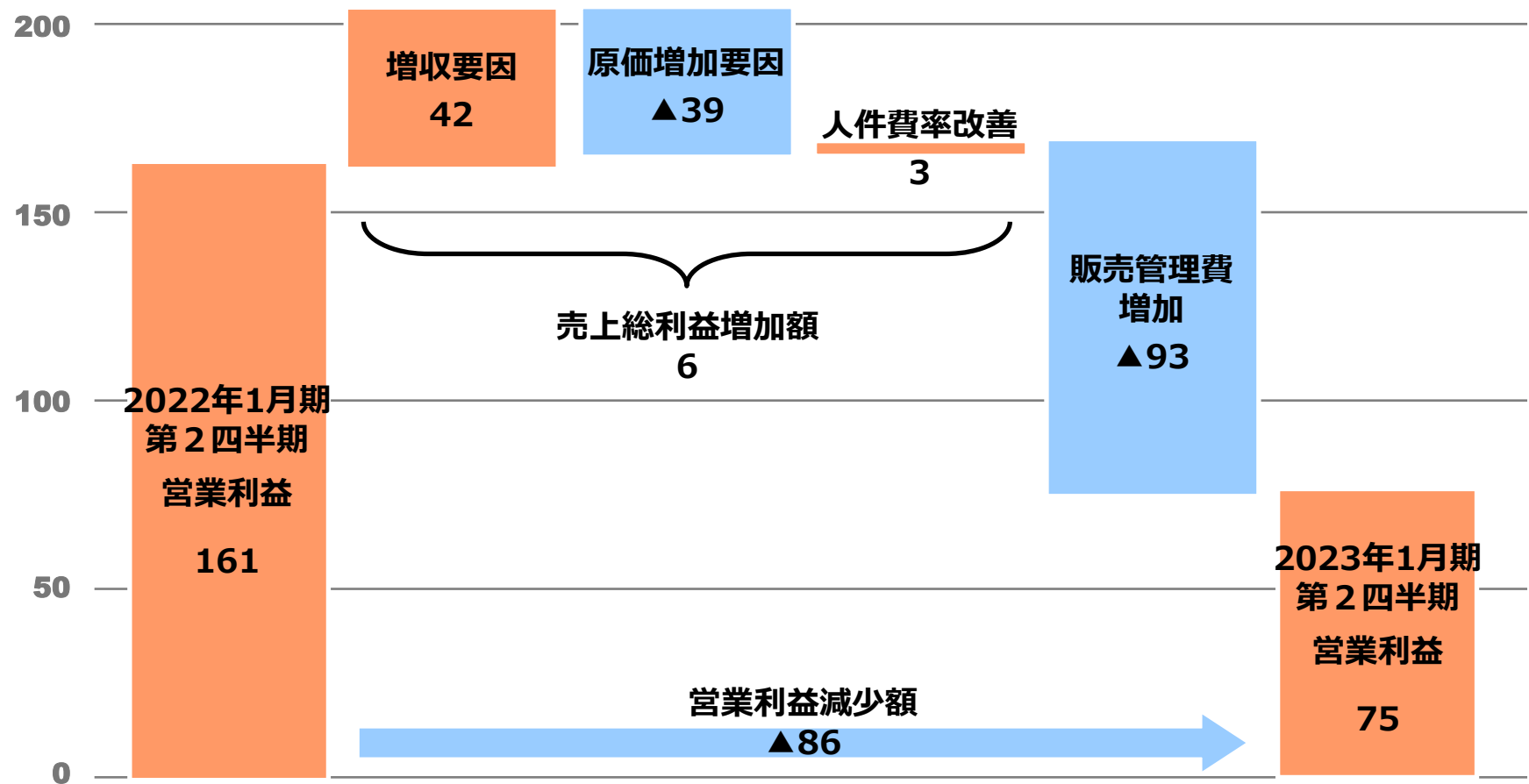
社員研修の様子



営業利益の増減要因分析：第2四半期（2023年1月期）

大型工事の受注により売上高は増収となっておりますが、人材採用費や元請獲得のための広告宣伝費用により、販管費が増加し減益となっております。

単位：百万円



貸借対照表：第2四半期(2023年1月期)

単位：百万円

	2023年1月期 第2四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,602	4,561	▲959	大型工事の完成に伴う売掛債権の回収によるもの
(うち現金預金)	(2,096)	(2,122)	(▲25)	
固定資産	4,739	4,458	280	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	971	2,181	▲1,210	工事減少(対前期末)による未払金減少によるもの
固定負債	2,475	2,483	▲8	長期借入金の返済によるもの
純資産	4,894	4,354	539	投資有価証券の評価替え、新株予約権増資によるもの
総資産	8,341	9,020	▲678	

受注状況：第2四半期(2023年1月期)

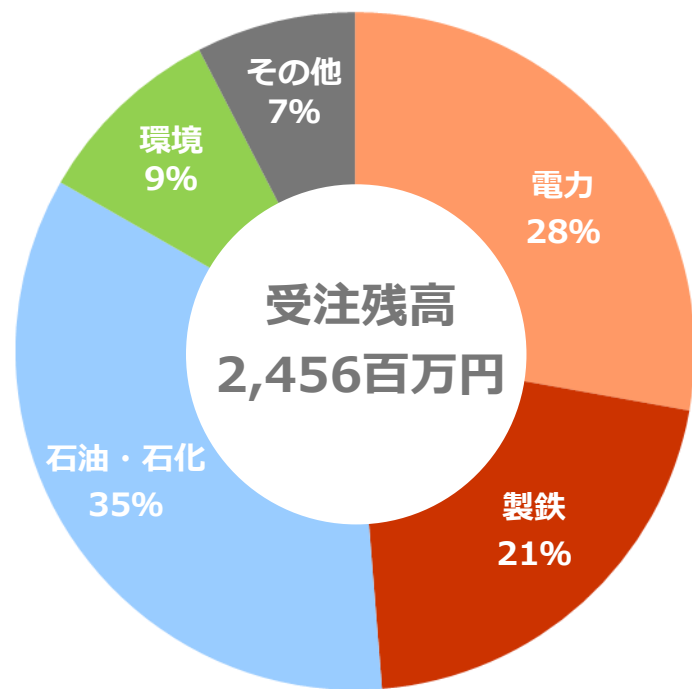
地方事務所の拡充等の戦略により、ストック型工事の受注(安定的かつ継続的な工事受注)が増え、受注工事高は26.4%増で推移しております。また、第3四半期以降の受注見込案件の引き合い状況は良好であります。

単位: 百万円

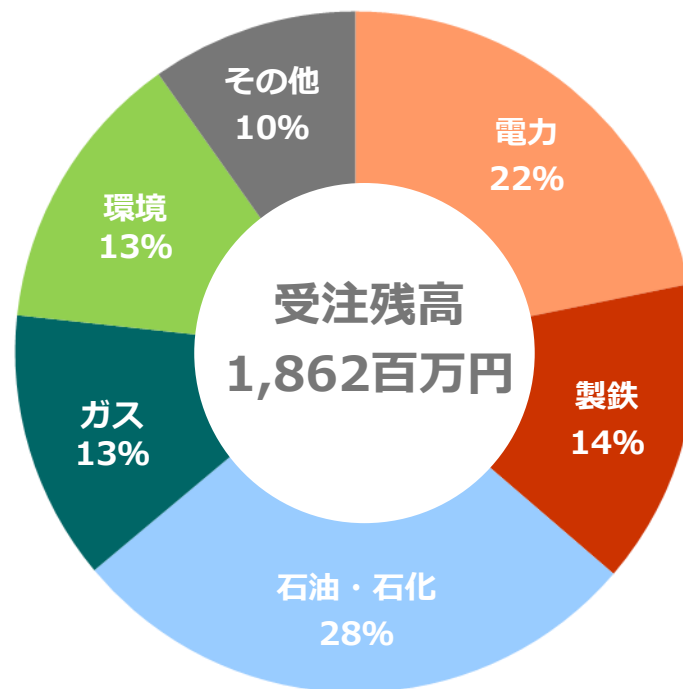
	2023年1月期 第2四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	1,594	2,545	▲951	▲37.4%
受注工事高	2,691	2,128	562	26.4%
完成工事高	2,423	2,217	205	9.3%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,862	2,456	▲594	▲24.2%

業界別 受注残高構成比率

ストック型工事の継続的受注増、また積極的な営業活動により、電力および化学業界で大型工事の受注があり、特定の業界に偏ることのない構成比となっております。



2022年1月期（第2四半期）



2023年1月期（第2四半期）

業績予想 (2023年1月期)

2023年1月期の業績予想は、以下の通りです。2022年1月期は、営業外収益と特別利益に特殊要因※の利益が計上されているため、特殊要因を除いた場合の実績値も記載しております。

単位: 百万円

	業績予想	実績	増加率	特殊要因を除いた場合	
	2023年1月期	2022年1月期		実績	増加率
				2022年1月期	
売上高	6,700	5,966	12.3%	5,966	12.3%
営業利益	620	607	2.0%	607	2.0%
経常利益	666	840	▲20.8%	639	4.2%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	469	1,467	▲68.1%	415	12.8%
1株当たり 当期純利益	54円	174円	—	49円	—
1株当たり配当金	20円	16円	25%	16円	25%
配当性向	36.8%	9.2%	—	32.4%	—

※投資有価証券の評価替えによるもの

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベストセラ株式会社

